

2058

N. 19. 6 分

十九年六月五日

大會計經理ノ部		發日時	受日時	令達	報告	出	口	等	陸別
(一) 令達並ニ報告ノ大要									
		十四日	陸軍省長 四〇陸軍省長	當隊ノ重井ノノ難味ニ鑑ミ 陸軍ノ処置トシテ金銭					無
			三三醫司令	給與ハ在ノ通 取計ハシメ凡ニ付可然ノ心配慮相成及					
			空報	二月分ノ一部及三月分以降全部ノ掌理(一切家換及)					
			横ノ經理部長	横須賀海軍經理部ニ電報依頼ス					
				二月分ノ一部及三月分以降全部ノ掌理(一切家換及)					
				二四月分ノ當隊ニ一時轉勤セシメヨリ力ヲ三三空隊員電					
				ニ關シテハ予々同様ナリ右同様佐世信海軍經理部					
				ニ依頼アリ同七五二空隊員及七五五空隊員ノ給與					
				ハ引續キ原隊ニ処理方電報也件					

海軍

陸七三(二)

<p>(一) 経費出納、状況          當方面ノ状況上之ガ出納不可能ノ爲前月ニ引續キ中止</p>			<p>手口          ココエラソフ          魔下各部隊長</p>	
	<p>二大橋橋ノ南側線ノ延長線ヲ以テ分割シテハ、南半ノ海岸</p>	<p>北半ノ海岸          〇航空敵艦ニ同敵員</p>	<p>区域          一廿橋橋ノ南側          二長線ヲ以テ分割シテハ、北半ノ海岸</p> <p>隊          〇警備隊本部          〇各隊ヲ派シテ各隊ヲ</p>	<p>當島(南島ヲ含む)海岸ニ於テ各隊並ニ各隊員ガ網又ハ爆発物ヲ備用ニ準備シテ居リ左記ニ定見其域ニ限ルモノトス</p>

海軍

圖七三〇

2

<p>(三) 物品受拂ノ状況 連日空襲ノ爲被室頻發スルニ當方面ノ戦垣落着キタル時期ヲ候テ一括整理ノストラス</p>	<p>(イ) 被服 在庫極メテ僅少トナリ殆ド機能停止ス</p>	<p>(ロ) 糧食 (1) 當島所在各隊ノ糧食總量ハ左ノ通一定ス 六月一日ヨリ 主食 五割 副食 三割 以内 六月十日ヨリ 主食 四割 副食 二割 五分 以内</p>	<p>(2) 在庫高 (六月) 〇五十五 現在 主食品 六月一日ヨリ 〇三〇 副食品 六月一日ヨリ 〇二〇 海軍</p> <p>主食品 〇五十五 現在 ニ減シタルモノアルコト判明ニ是正セリ</p>
---	-------------------------------------	---	--

三三三三

子

海軍

<p>(5) 本月中空襲被害ニ依リ被害</p>	<p>六月十八日 本隊員ニ對スルニ主食一日分  <small>(食糧庫)</small>      本日の海小焚火製塩ヲ開始シ  <small>(食糧庫)</small>      備蓄ニ依リ主食      保存用ニ充テス</p>	<p>(1) 必需品</p>	<p>(1) 在陣 粘濁ニ強ク機能停止ス      (2) 六月十七日 被爆ニ依リ必需品庫ニ在陣 數日 復々土中      被爆物ニ充テス</p>	<p>(4) 糧食現地自給量      裏面ニ記載</p>
-------------------------	---	----------------	---	-----------------------------------

第七三號

4

(1) 離島(主として「オロロン」島)に椰子、椰子、魚撈(魚)の採取

得此些少糧食給て改善ニ資スル為夜間大発(大)作(業)スルニ三十名ヲ  
派遣シ一日作業セシメタル上翌夜大発(大)作(業)セシムルコトトシ  
毎週平均三日派遣ノ計画ヲ定メ実施ス

(2) 生魚ニメロヤ

<p>三十一日 一〇 能</p>	<p>三十一日 一〇 能</p>	<p>計 二九〇 能</p>	<p>(一) 椰子筒 五〇本 (二) パンノ實ニ〇能</p>	<p>(二) 隊員ノ糧食自足ノ其心ノ状況ニ於月ニ因シ</p>	<p>(五) 豆炊所ノ設備</p>	<p>六月十三日 被爆ニ依リ<sup>(本部)</sup>豆炊所(修設物)半壊直ニ復旧ス</p>	<p>六月十七日 被爆ニ依リ<sup>(本部)</sup>豆炊所(修設物)全壊(セメント製心竈三個)</p>	<p>六月 日 茶湯所<sup>(修設)</sup>全壊<sup>(トタン)</sup>張修設物建設ス</p>
------------------	------------------	----------------	--------------------------------	--------------------------------	-------------------	--	--	---

新三三

50

海軍

	(乙) 糧倉庫、竝ニ糧倉分散枯納ノ状以 此ノ月十七日 祖爆ニ依リ半土庫倉庫一、小破直ニ修復ス	(丙) 五月十九日 祖爆ニ依リ半土庫倉庫一、半壊直ニ修復ス									
--	---	-------------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

(約)

七三三〇

海軍

大層計經理部

(一) 令達並報告ノ大要

特記事項 ナシ

(二) 經費出納ノ状況

當方面ノ戦況上之が出納不可能ノ爲前月ニ引續キ中止

(三) 物品受拂ノ状況

(四) 糧食

在庫極少ノ糧食 殆ド機能停止ノ状態ニ在リ

(五) 糧食

① 本月初旬以降當島所在各隊ノ糧食給與量ヲ左通トス

主食 四割七分以内

副食 一割七分以内

海

軍

十九年 十月 九日

①



圖七三(納)

(2) 在庫高 (七月一日及十五日現在)

主食品 六二日分。副食品 二三日分。二〇日分

(3) 本月中空襲ニ依ル被害

七月一日本隊員ニ對スル 主食一日分。副食二日分

(1) 需品

在庫枯渴シ殆ド機能停止ノ状態ニ在リ。

(四) 糧食現地自給量

(1) 離島 (主トシテ和ロツト島他ニ「チエー」島、ガリル島、カベノ島ハ各一團) ニテ

椰子実、椰子筍、魚撈ニヨル生魚ノ採集、其他島民トノ物々交換 (島民ハ衣

服、石鹼等日用品不足ニ苦シミアル外化粧品ヲ需ム) ニヨル糧食取得ニ

依リ些力糧食給与改善ニ資スル爲、夜間大発ニテ或ハ作業員

海軍

二三十名、又ハ数名ノ物々交換員ヲ派遣シ一日乃至二日作業  
セシメタル上夜間大発ニテ取扱セシムルヲ前月ニ引続キ実施  
毎週平均四日トナセリ。

(四) 生魚

約 七五〇觔

(四) 椰子筍

〃 二〇〇本

(四) 青椰子ノ實

〃 四五〇〇個

(三) タコノ實、マクモク澱粉、タコ羊羹、パン、実、チヂマイ、等夫々少量。

(ハ) 隊員ノ糧食自足ノ苦心ノ狀況ハ前月ニ同ジ。布地ヲ解キテ糸ヲト

リ、網ヲ作製シ之ヲ用ヒテノ魚撈量ハ相當ノ量ヲ挙グルモノアリ又南

地ハ比較的爆虫ナキ爲「メロン」其ノ他瓜、茄子ノ收穫ヲ挙ゲ食卓ヲ

賑ハス者アリ、但毒蟹其ノ他魚類ノ中毒數回発生セルヲ以テ毒魚參者資

料ヲ調製頒布シ予防ニ努ム。

(ニ) 敵襲困散トナルニ応ジ烟ノ筒発ヲ獎勵シ殊ニ栽培容易ナル「ドンドロビー」

海軍

續七三二號

竝之ニ類似ノ草及越凡ヲ植付ケシム「ドンドロビー」ノ食用化ハ並目  
及セルモ下痢ノ因ヲナシ易シ。

(五) 烹炊所ノ設備

七月一日被爆ニ依リ本部烹炊所及附屬茶沸所全壊ス。

(竈) 小破。釜三個破損。予備釜ヲ補充ス。

烹炊所ノ被爆頻々タルニ鑑ミ現位置ヲ避クル要アリト認メ三ヶ

所ニ分散。内ニヶ所ヲ半中式トシ新設。他ニヶ所ハ航空廠ト合

併ノコトニ計畫シ。之ガ完成迄。差當リ。三砲台烹炊所及航空

廠ニ夫々烹炊可能ノ範圍ニ於テ従来本部烹炊所供食中ノ

一部ヲ移シ。本部烹炊所ハ全壊露天ノ俵使用ノコトセリ。

尔後直米ヲ受クル事ニ固アリテ漸次竈ヲ破壊セラル。

圖七三二號

海軍

(乙) 糧食庫並ニ糧食分散格納ノ狀況

(1) 七月一日被爆ニ依リ。半土中式糧食庫一。糧食格納中ノ五十延  
 天水槽一。全壞。同半土中式糧食庫一。三延天水槽二。半壞ス。  
 (2) 糧食ハ保存長期ニ亘リタルコト。糧食庫不完全ナルコト。屢  
 々被爆及移転ノ為。変敗スルモノ漸ク増加セントスル兆ア  
 リ。之ガ対策トシテ保管中ノ缶詰ヲ全部莫檢油拭ヲ  
 施スト共ニ缶ノ狀況ニヨリ使用順序ヲ定メタリ。野菜  
 缶詰ノ膨脹缶ハ尚概ネ使用ニ堪エタルモ。獸魚肉類ノ膨  
 脹缶ハ使用不能ナリ。

續七三〇

海軍

8.19.8.分

2070

大層計経理部

一) 令達等報告ノ大要

別紙第一、第二、第三 (文書)

二) 経費出納ノ状況

當方面ノ戦況上之ガ出納不可能、爲前月ニ引續キ中止

三) 物品受拂ノ状況

(A) 被服

在庫ヲ全部陸軍ニ分テ運者衣及毛布被ヲ除キ在庫盡キナリ

仍テ尔今貸子被服ナク止テ得ナル時ハオニ種又オニ種軍裝其他ヲ適宜裁断加工  
ニ着用スルモノ及ハセトノ指示ヲ受テ現事態ニ處スル所ナリ

(B) 糧食

④ 本月十五ヨリ當所各隊糧食於手差ラ更ニ減尠ノ節アリ

主食 四割以内 副食 一割五分以内

海軍

第七三一號

(2) 在庫高 (八月一日及八月十五日現在)

主食品

五〇日分  
四十三日分

副食品

十七日分  
十五日分

(3) 本月中空襲ニ依ル被害ナシ。

(1) 需<sub>ト</sub>如<sub>ク</sub>

在庫枯渇シ殆ド機能停止ノ状態ニ在リ。

(四) 糧食現地自給量

(1) 毎月同様ノ離島糧食取得作業ヲ続クルト共ニ更ニ離島ノ糧食資源ヲ徹底的ニ調査スルヲ要アルヲ認メ月頭離島糧食資源調査方策ヲ定メ之ニ基キ當島所在各隊ノ軍人軍屬ヲ以テ離島糧食調査隊ヲ編成シ十五日「カベン」「ケエン」「クル」「ギンバイ」「オーロツト」「グマル」「エケリベン」「アイリツク」ノ各島ニ計八隊二十九日「オネマク」島へ一隊

海軍

圖七三(一)

三十日「エネア」島へ一隊 三十日「エニバル」島へ一隊 夫々分派 肉癸ニ從事セシム。

(四) 離島肉癸ト共ニ本島ニ於テ農作努力ヲ推進スル為本島ノ軍人軍屬各々南瓜三株育成ノ責任ヲ定メタリ。

(四) 井中現地自給高  
生魚 二五〇觔

椰子醬 三〇〇本

パンノ実、タコノ実、タコ羊羹、  
「チャカマイ」等夫々少量

糧食肉癸隊ニ依ル離島糧食取得高

別表第一ノ通

(五) 烹炊所ノ設備

(1) 本月一日ヨリ左ノ通分散烹炊開始ス。

本部烹炊所 (半中式ニテ新設モノ) 約三〇〇食

海軍

中攻隊地区烹炊所 (前)	(同)	約五〇〇食
航空廠烹炊所		約三〇〇食
三砲台烹炊所		約二五〇食
(四) 八月二十九日被爆ニ依リ本部烹炊所小破セルモ直ニ復旧ス		
(六) 糧食庫並ニ糧食分散格納ノ狀況		
(四) 中攻隊地区烹炊所。附屬小出倉庫棟並ニ酸素タンク		
利用半土中或倉庫。同烹炊所近クニ新設		
(五) 各配置ニ配布シアルヲ阻止戰用應急糧食五日分ハ		
返納セシメ更メテ二日分宛配布ス。		

(圖七三) 勢

海軍



(七) 其ノ他

糧食<sup>給與</sup>量ノ減少ト共ニ<sup>食糧</sup>量<sup>酒</sup>及<sup>油脂</sup>ノ利用ニ努メアルニ  
 殊ニ<sup>現地</sup>糧食ノ<sup>隨</sup>一ヲ占ムル<sup>椰子</sup>實<sup>即</sup>コアラノ<sup>食用</sup>化ハ<sup>特ニ</sup>研究  
 努カスヘキナ<sup>今</sup>以テ、<sup>土人</sup>及<sup>各自</sup>ノ<sup>経験</sup>ヲ<sup>研究</sup>ノ<sup>結果</sup>コアラハ<sup>細粉</sup>  
 トシ他ノ<sup>食物</sup>ニ<sup>混</sup>セ<sup>且</sup>差<sup>當</sup>リ一日<sup>半</sup>以<sup>下</sup>トスルヲ<sup>適</sup>當ト<sup>認</sup>メ<sup>之</sup>  
 シ標準トシテ<sup>指導</sup>ス

⑨  
第53頁

海軍

別紙

昭和十九年八月三日

「マロエラ」隊司令部指揮官

海軍大佐

錦田正一

離島糧食資源開採方針策ヲ左ノ通定メ

左 記

一、基本方針策

(一) 九月末迄ノ期間

現在程度ニ離島糧食資源ヲ取得消費ス

十一月以降ノ消費ニ備ヘ離島糧食資源ヲ本島及近在離島ニ

蓄積ス

離島ノ糧食生産力増加ニ努メ

(二) 十月以降ノ期間

離島ノ糧食生産力ヲ増大セシメガルヲ限度トシ離島糧食資源

ヲ可及的ニ消費スルヲ得テ消費ス

右ニ概観セザル部門ニ於テ離島ノ糧食生産力増加ニ努メ

(三) 島民ヲ指導シ又ハ自ラ漁撈作業其ノ他離島糧食資源開採

ニ從事スル爲有能ナル者若干名ヲ以テ糧食團弁隊(假称)ヲ締結  
シ各主要離島ニ一隊宛常駐セシム

二、細目的才策

(一)糧食團弁隊ハ澳粉・塩乾魚ノ製造・家畜家禽ノ増殖生椰子実・  
椰子筒・枯椰子実共ノ他各種果実ノ取得葛葉(「マクモク」澱粉「クモク」  
羊羹「クタクパニ」ノ製造)畑(「クモク」パイ「クモク」南瓜・五蜀蓼等)ノ圃弁  
並ニ之等ニ用スル所在島民指導等離島糧食團農ノ事業一吸ニ  
専念ス

(二)乾魚並ニ「マクモク」澱粉・椰子島内ニ蓄積シ十一月以降ノ消費ニ備  
フ

運ニ相当数ノ豚雞(豚雞ヲ目的トセシ)ヲ近在離島ニ移動放畜シ  
十一月以降ノ消費ニ備フ

(三)島民指導才針

(1)島民ノ食生活ヲ規正シ最低水準ニ引下ゲシム

(2)椰子実ノ收穫量ヲ蓄積シ減少ニシテ「クモク」チヤカルニ取得量ヲ極度  
ニ制限ス

(3)椰子林橋「マクモク」澱粉「クタク」羊羹「クタクパニ」塩ノ製造ニ全

カラ煮ナシ

- (一) 豚雞ノ屠殺制限増進漁撈作業乾魚製造ニ付徹底的ニ指導ス
- (二) 本島ニ送付スベキ糧食ノ取得準備作業ニ全幅協力セシメ
- (三) 要スレバ島民ノ強弱救済ヲ行フ
- (四) 島民不在離島ニ対シテハ必要ニ應ジ作業員ヲ派遣ス
- (五) 本才策実施ニ必要ナル大奔乃至内火艇ノ運航ニ関シテハ別ニ之ヲ定メ
- (六) 燃料及椰子材取得作業ハ八月以降ノ実施セザルヲ立前トス

(備考)

官給糧食給予量並ニ其ノ時期ハ八月中旬以降ノ主食規定量  
 額ノ四割副食一割五分十月以降ノ主食三割五分副食一割二分  
 十一月以降ノ主食三割副食一割トナス予定ナリ

別紙才二

昭和十九年八月五日

マロエラップ 陸軍部隊指揮官

海軍大佐 鎌田正一

糧食開發隊編成等ニ關スル命令

一 稻葉大尉ハ速ニオロソト島及カバン島(コウイヴー)島ヲ  
 屬スニ當テ駐セシムベキ糧食開發隊ノ編成ヲ安ホ副ニ本職  
 ノ認可ヲ經タル後夫々八月十二日及八月二十五日迄ニ其ノ要  
 員ノ詮衡ヲ了スベシ

水元大尉ハ速ニギンバイ島及アイリック島(コマカル)島  
 ヲ屬スニ當テ駐セシムベキ糧食開發隊ノ編成ヲ安ホ副ニ本  
 職ノ認可ヲ經タル後夫々八月十二日及八月二十日迄ニ其ノ要  
 員ノ詮衡ヲ了スベシ

中西大尉ハ速ニチエー島ニ當テ駐セシムベキ糧食開發隊  
 ノ編成ヲ安ホ副ニ本職ノ認可ヲ經タル後八月十二日迄ニ其ノ  
 要員ノ詮衡ヲ了スベシ

6605

佐藤大尉ハ速ニ「カール」島ニ常駐セシムベキ糧食開發隊  
 編成ヲ案画シ本職ノ認可ヲ経タル後八月十二日迄ニ其ノ要  
 員ノ詮衡ヲアスベシ  
 佐野技術大尉ハ「クマル」島ニ常駐セシムベキ糧食開發  
 隊ノ編成ヲ案画シ本職ノ認可ヲ経タル後八月十二日迄ニ其ノ  
 要員ノ詮衡ヲアスベシ  
 二右ノ諸官長及佐藤軍醫西大尉、赤塚軍醫西大尉、平田中計  
 大尉、平林中計大尉ニ離島糧食開發隊ノ編成ヲ命ズ  
 離島糧食開發隊委員ノ臨時命令合ニ糧食開發隊ノ編  
 成之員ノ運用其他離島糧食開發ニ関スル事項ヲ協  
 議シ且之年ニ開スル要務ヲ分担スベシ  
 三糧食開發隊ノ要員ハ各直接ノ隊員ノ外施設部、航空  
 廠、其他ノ軍屬ヲ以テスルコトヲ得

(終)

昭和九年八月二十三日

「マロエラツテ」防衛部隊指揮官 志軍大佐 錦田正一

糧食増産隊編成等ニ関スル件令

一、田口大尉ハ速ニ「マロエラツテ」常駐セシムルハキ糧食増産隊ノ編成ヲ案照シ本職ノ認可ヲ得タル後其ノ要々ヲ詮衡スヘシ

佐野技術大尉ハ「マロエラツテ」常駐セシムルハキ糧食増産隊ノ編成ヲ案照シ本職ノ認可ヲ得タル後其ノ要々ヲ詮衡スヘシ

酒田中尉ハ「マロエラツテ」常駐セシムルハキ糧食増産隊ノ編成ヲ案照シ本職ノ認可ヲ得タル後其ノ要々ヲ詮衡スヘシ

二、離島糧食増産委員ノ名称ヲ糧食増産委員トシ

糧食増産委員ハ隨時令合ニ糧食増産ニ関スル諸事項ヲ提議且之等ニ関スル要務ヲ分担スヘシ

三、田口大尉ハ酒田中尉ヲ糧食増産委員トシ

海(紙)世

簡七三〇

別表一 八月中開採隊南島糧食取得表

品名	カーベン	ヤーン	ターウ	ギジバイ	ホロフ	パイツク	計
椰子蜜	3.045 <sup>110</sup>	0	0	0	0	3.000	6.045
椰子筒	0	0	0	0	0	30	30
ホン蜜	458 <sup>110</sup>	0	0	0	0	50	508
タコ羊羹	74 <sup>本</sup>	0	0	0	0	4本	78本
ホン羊羹	0	0	0	0	0	6本	6本
乾菓	78 <sup>70</sup>	6P	25	32	38P	23	245P
塩菓	0	0	0	0	40 <sup>70</sup>	60	100
パイア	45 <sup>47</sup>	0	0	0	0	0	45
パイア木	30 <sup>本</sup>	0	0	0	0	0	30
塩	23 <sup>本</sup>	2	15	0	0	0	55
チヤカコイ	52 <sup>本</sup>	0	0	0	0	0	52
乾ホン蜜	30 <sup>70</sup>	0	0	0	0	0	30 <sup>70</sup>

2080



519.9.令 2081

大層計経理ノ部		発日時	受日時	令	達	報	告	等	種別
(一) 経費出納ノ状況 當方面ノ状況上之が出納不可能ノ爲前月ニ引續キ中止		二十日	二十日	4月機密力ニ〇八ニ〇番電					電
				融隊參謀長 部外參謀長	九月三十日現在員ニ對シ臨時榮身ヲ裁シ件				電

海軍

(目) 物品受拂ノ状況

(甲) 襦袢

在庫 粘濁シ僅ニ修補用

古服布地  
ヲ拂出し居ル程度ナリ

(乙) 糧食

(1) 本月十五ヨリ常局所在者隊 糧食殆ど量ヲ尽ノ通ルナリ

至辰 三割五分前副食二割五分以内 但副食現地自給物資ヲ含ム  
其ノ状況ニ依リ適量減添ス

(2) 在庫高 (九月一日及十五日現在)

至辰品 四十一日分・三十七日分  
副食品 十五日分・十日分

(3) 本月中空襲ニ依ル被害

九月二十二日 本島總員ニ對スル  
副食品 一食分

(丙) 需品

在庫 粘濁シ紹々機件停止ノ状態ニナリ

海軍

五七三三

(2)

糧食現地自給量

④ 糧食開墾隊ノ状況

1. 九日十五名ヨリ成ル一隊ヲ「ロア」島ニ分派ス 斯テ九日未ノ開墾隊ハ十三隊 三百六名ニ達セリ

2. 中旬開墾隊駐在各島ニ「ハイア」苗四千五百本ヲ配給植付ケル

3. 糧食開墾ノ順調ニ資メ施セラシ 本月給與セル別産ノ五割ハ之ニ俟テラ得タリト雖モ尙未ダ主食ヲ補フニハ遠ニ及バズ 本月中ノ蒐集成績ハ別表ノ通

(ロ) 糧食給與量ノ減少ニ對處ニ其ノ改善ニ努ムル爲各自カ

自發的ニ取得セル魚介農作物等糧食ノ納付ヲ勸奨ス 糧食納付点数制ヲ創案シ一筆ノ食一瓢ノ感ト雖モ

海軍

3

親友相分ツテ樂シムル根本精神ノ下ニ一日ヨリ左島ニ之ヲ  
實施シ相宜ノ成果ヲ收ム

四前月軍人軍屬一人宛南瓜三株育成ノ義務ヲ定メタル結果  
十五日現在ニ其ノ總計六千本ヲ突破セルモ其ノ後爆撃ヲ  
受クル都度其ノ他ノ農作物ト共ニ損害ヲ受ケル量は大ナルニ  
アルモ尚繰返シ賽ノ河右積極的ノ努力ヲ重ネアリ

(三) 換勞班 (主トシテ「ハツバ」使用) 及糧食配付点数制ヲ基調ト  
スル本島ノ糧食自給量左ノ通

生魚肉 二九〇 觔

瓜類及食用雜草 (トンドロビ草) 二九〇 觔

(五) 烹飪所ノ設備

九月二十七日被爆ニ依リ餘没薪炭等一棟全壊 同場所ニ國産薪炭

(六) 糧食庫並ニ糧食分散格納ノ状況

(イ) 酸素タンクヲ利用セル半中、式糧食庫一、新設

九月半ニテ被爆ニ依リ糧食格納中ノ水槽タンク一、全壞

(四) 敵機ノ目標タル地区ニ格納中ノ糧食ハ全クラサル地区ニ分散スル

ヲ當ト認メ本月中 此ノ種ノ移動ヲ実施スルコトニ固

(七) 其他

(イ) 糧食貯子量減少シ、其ノカロリーノ計算ナルニ到ル迄、体

持ニ耐エサルニ不向、其ノ割ニ隊員ノ体量ノ減少ヲ自立タズテ、

尚余糧ニ至ラサルヲ不審トシテ、主食貯子率ヲ定見

ノ四割トシ、更ニ三割五分トスルニ至リテ、隊ニ体力衰退ノ趨向顯

著トナリ、營養失調症ノ患者ノ數スルニ至レリ

(四) 離島糧食團部隊ノ報告ニ依リ、此ノ種ノ糧食格納ニ於テハ、

(續三三節)

(5)

海軍

ウニハ總ハク

種類並其数ノナカラサルコト明瞭トセリ殊ニ醫ノ中毒  
 猛ハナリ但概ネ既往ニ於テ毒道ニ入ルコト知レタルモノナリ

種類ノナリ

終

離島糧食募集配分実績表 (昭和十九年九月)

品名	量	カニ	イワシ	サバ	イサナ	サケ	シラス	トコシ	イサナ	サケ	イサナ	イサナ	計	警備隊	戦時特需	施設部	
椰子林徐	個	2827	2480	0	0	0	700	0	0	0	0	0	6.0011	15412	7890	6138	
理科椰子	個	2508	560	2730	5500	1400	6700	50	415	0	0	3.000	23.880				
青椰子実	個	20	30	30	30	30	20	120	20	0	0	0	305	135	70	100	
乾椰子	kg	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	565	505	285	140	140	
椰子油	斤	0	0	0	0	3	7.4	0	0	0	0	12	22.4	7.4	12	3	
椰子膏	斤	254	75	75	75	45	45	0	0	0	0	75	669	342	186	141	
タコ実	個	0	31	0	5	0	0	25	0	0	0	0	61	21	30	10	
タコ羊羹	kg	92	0	0	0	0	0	0	0	0	0	46	46	48	245	22	
チカマイ	瓶	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	5	3	3	
パン実	個	2050	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2.050	1029	548	413	
パンイ	個	305	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	305	148	87	70	
同上幹	斤	57	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	57	28	15.5	13.5	
同上苗	斤	0	0	2690	0	0	0	0	0	0	0	0	2690	合計 = 4100			
源粉	kg	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17	17	101	0	0	
干魚	kg	167	93	77	113.4	109.9	174.2	47.5	74.1	100	105	288.1	127	1.591.3	770.3	436	356
生魚	kg	0	0	0	0	0	0	21.1	10.9	20	0	28	32	165	26.1	44.1	9.5
塩辛	瓶	0	0	48	0	0	0	0	0	2	5	0	0	8	1	4	3
豚頭	斤	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	「タコ」 = 40			
塩	斤	120	35	30	30	70	120	50	66	28	35	60	669	640	20	9	

2084

大會計經理ノ部

(一) 令達迄ニ報告ノ大要

特記事項ナシ

(二) 經費出納ノ状況

當方面ノ戦況上之が出納不可能、爲前月ニ引續キ中止

(三) 物品受拂ノ状況

(四) 裨服

在軍枯竭ニ僅ニ修補用古服布地拵出シ居ル程長ナリ

海軍

一九一〇分



糧食

1. 當島所在各隊ノ糧食總興量(前月十五ヨリ)

主食三割五分以内 副食二割五分以内

但副食現地自給糧食ヲ食テ下シ其情況ニ依リ適宜減次スル

2. 在庫高(十月一日 十五日現在)

主食品三〇日分、二七〇分副食品 一六日分 一六日分

3. 本月中空襲ニ依リ被害ナシ

(1) 需品

在庫枯竭シ彈藥機能停止ノ狀態ニアリ

海軍

(四) 糧食現地自給量

(1) 糧食開採隊ニ依リ本月中蒐集為別表ノ通ニテ既九月

(十月末現五十三隊四〇名)

同様ノ成績ナリ

(2) 澳勞班(主トシテ)使用)及糧食配付点数制ヲ基調トス

本島ノ糧食自給量左ノ通

(九月分)参照

生魚大肉

七七〇 緋

瓜類及食用雜草(トントゴト草) 五〇〇 緋

(五) 烹炊所ノ設備

(船股)

十月三日 糧煤ニ依リ三砲台烹炊所及同小出倉庫全壊

同一場所ニ再築ス

海軍

(2) 糧食庫並ニ糧食分散格納ノ状況

特記事項ナシ

(7) 其他

(4) 被服物品ノ給予劣悪トナリヨリ既ニ又シク爲ニ満足乞食ノ如ク服被服ノ

者多ク被服ノ整齊ノ事ニ於テ軍紀ノ嚴正ヲ期シ得ラレサルニ幸ヒ

當島ノ氣候ハ秋帯常夏ナル爲ニ被服之ヲ直接生活ノ加増カス

程度ハ左程大ナラス。且モ不足ニ悩ミアルハ蚊帳及履物ニシテ前

者ハ蚊取線香及蚊遣火ニテ僅ニ代替シアルニナレトモ別ニテシク

然ノ猖獗ヲ見サルハ或ハ体内抵抗力ノ増加ニ困ルカ。後者ハサシク下

駄草履等ヲ自製者尠クスルモ不便歎ニトヒス

(2) 雷島ノ給与ニ付同種ノ状況ナシ。種々代替品ヲ考案自製スル等ノコト

ナリ。生活ニ至ルハ骨戚ハ衣服不足程切実ナラス

(2) 物資ノ不足ハ貨幣価値ヲ失ハシメ。施設部工員ニ至リテ例ハ公

海軍

海軍

第七三號

松本ノ校式内南風一類松本ノ校式内南風一類松本ノ校式内南風一類  
引スルニアリト間ク、斯テ戦況一變以テ金銀ノ降ル能ハズ  
ノ持滞事ヲ豫メテ

(三)

糧食不足ノ窮余ノ一策トシテ、雷方面有向ノ外海ニ自生シテ海  
木タルエノバ(カシノ山名カシノ)ノ葉ヲ苦汁取リ上段食飢餓感  
防遏ニ努メアルガ其ノ常ニ食糧ニ肉シ且難雨論了テ判断ニ  
苦メリ、消化ハ良好ニシテ便ヲ硬カラシムル外特ニ頭痛等ナル  
症状ヲ認メズ。

終

昭和十一年十月 糧食開採隊

別表 > 離島糧食蒐集実績表 (昭和十一年十月)

品名	品別	数量	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	計
相模米	個	2625	0	0	0	200	765	0	0	1720	0	0	0	5245
他米	個	0	0	0	0	6500	0	0	0	0	0	2200	0	8700
薪	個	60	55	90	90	70	60	80	60	0	0	80	30	655
コメ	個	2230	1680	3250	3000	2100	1480	120	400	0	0	3000	100	17240
糠	個	258	150	70	43	120	45	0	0	0	0	90	0	781
薪	個	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	60	0	60
薪	個	11	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25
薪	個	16	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30
薪	個	116	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	116
薪	個	1040	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1040
薪	個	300	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	300
薪	個	29	0	250	0	0	0	0	0	0	0	0	0	279
薪	個	14	6	6	0	10	10	10	10	0	0	0	5	71
薪	個	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	31.6
薪	個	56	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	63
薪	個	361	57	82	874	100	107	22	1425	333	13	3018	87	1,945
薪	個	0	0	0	0	10	0	0	47	41	30	24	0	157
薪	個	0	0	0	0	0	0	140	0	12	48	0	0	200
薪	個	3	(和)	6=株ツ)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
薪	個	80	80	40	40	85	130	40	106	25	23	109	60	788

① 本年度稲作、早天、風水害等により、  
 被害が甚地ニアラシキト云、概不平均  
 自給程度、後、復原云々あり  
 ② 十一月一日、稲村中尉、河島兵衛長  
 川畑上等野郎、山崎高山、上野  
 八、其の上級定期任用、  
 同日、兵長、上野、六、定期任用、

15. 19. 11 分

2094

主任長

大層計經理ノ部

<p>令 達 茲ニ報告ノ大要</p>	<p>令 達 茲ニ報告事項</p>	<p>主任長</p>	<p>無電</p>
<p>主任長</p>	<p>二月廿日現在員二俾木堂與支給ノ件</p>	<p>主任長</p>	<p>二月廿日現在員二俾木堂與支給ノ件</p>
<p>主任長</p>	<p>二月廿日現在員二俾木堂與支給ノ件</p>	<p>主任長</p>	<p>二月廿日現在員二俾木堂與支給ノ件</p>
<p>主任長</p>	<p>二月廿日現在員二俾木堂與支給ノ件</p>	<p>主任長</p>	<p>二月廿日現在員二俾木堂與支給ノ件</p>

海軍

四七三三

(一) 経費出納ノ状況

當方面ノ戦況上エガ出納不可能ノ爲前月ニ引続キ中止。

三月以降ノ俸給増俸當要等金銭給與一切經理部

隊員ニ対スル

ニテ掌理家族ニ下渡セシアル旨ナルモ其ノ處理ハ順調ナリヤ不ヨヤ

ニ付今ノ爲向合セノ電報ヲ打チタリ。

(二) 物品品番ノ状況

(1) 被服

在庫枯渴シ僅ニ修補用古服地ヲ拂出シ居ル程度ナリ

陸七三一密

海軍

(四) 糧食

(1) 本月一ヨリ当島所存各隊ノ糧食總量是左ノ通改ム

主食 三割以内 副食 二割 三分以内

但別食現地自給糧食ヲ含ムトシ其ノ情況ニ依リ適宜減込スルコト

(2) 在庫高 (上月一日、十五日現在)

主食品 二六リカニ三リカ 副食品 一四日分一四日分

(註) 本月ヨリ雜肉糧食肉並隊ニ主食品食共込与セサルコトセリ

(3) 本月中空襲ニ依ル被害ナシ

(1) 需品

在庫枯渴シ機能停止ノ状態ニアリ

國七三號

海軍



(四) 糧食現地自給量

現在支給中ノ糧食熱量價ハ一日約九五〇キロリニテ内約一二〇キロリヲ現地自給

糧食ニ俟テリ即チ糧食現地自給率ハ二五%ナリ

(1) 糧食開採隊(土月未現在十三隊四名)ニ依ル本月中蒐集高ハ別表ノ通ニテ十月ニ

比シ成績ハ相当低下セリ

(2) 漢労班及糧食納付点数制(九月分本欄参照)ヲ基調トスル糧食自給量左ノ如

生魚肉

三〇〇觔

瓜類及食用雜草(莧)トントロウモシバ) 八〇〇觔

(五) 烹炊所ノ設備

土月土古被爆ニ依リ三砲台烹炊所全壊ス他ノ烹炊所ニ銘祐アルコト

復旧ヲササズ消滅セシム

(六) 糧食貯蔵ニ糧食分散格納ノ状況

三砲台烹炊所停止ニ伴ヒ同所保存ノ糧食ハ本部附近各部ニ分散

海軍

海軍

第七三號



519.12.10 6602

<p>日 横須賀 総務部</p>	<p>2日 63K4 世計長</p>	<p>一家挨拶支店中 ニ文意不明</p>	<p>二時機余リニ遅ルニテ ニ付重不テ御願ヒス</p>	<p>二時機余リニ遅ルニテ ニ付重不テ御願ヒス</p>	<p>電 一在本島部隊員全部ハ三月以降 一層ノ金銭給與ヲ受ケ居リ 屢次ノ衣費ニ依リ給與ノ少キ事 中々全額ハ適当ニ支給サレ 思會ハ件</p>	<p>63K4 司令 佐藤 横須賀 経理部長 佐藤 世計長 佐藤 人部長</p>	<p>六層計経理 命令達ニ報告ノ大要 合 種別</p>
--------------------------	----------------------------	--------------------------	---------------------------------	---------------------------------	---	--	---

海軍

圖七三〇

2100

十日 解任経理部長 同日 外 補任計長	六三三製糖株式有限会社 取締役在籍軍人等為「済脱増伴」符「表」臨時家族手控、當選 家族渡中
四日 補任計長 同日 外	四三製糖株式有限会社 取締役在籍軍人等為「済脱増伴」符「表」臨時家族手控、當選 家族渡中

(四三三製)

司令 經理局長 和田經理部長 佐佐木部長 (三三三三三三三三)	六三警機添才〇九一五四番受 中五三航空隊ノ運送ニ〇七、七、七ノ入四時被爆焼失 ヤル件、通知
(二) 経費出納ノ状況 当方面ノ戦況上之が出納不可能ノ爲前月ニ引續キ中止。	
(三) 物品受拂ノ状況	
(四) 被服 在陣者湯ニ僅ニ着補用古服地ヲ拂出シ居ル程ナリ	

(七七三三)

海軍

回糧食

(1) 本月中、生島所在各隊、糧食給與量左ノ通

上月一ヨリ 主食三割五分以内 副食三割五分以内

ニ於テ漸減シ、椰子實ヲ主食代用トシ献立中ニ組メタリ

(2) 在陣高 (上月一ヨリ、十五ヨリ現在)

主食品 二〇〇・一ヨリ 副食品 一〇〇・一ヨリ

(註) 離島糧食開奉隊ニハ糧食不給

(3) 本月中、空襲ニ依ル被害

生島所在各隊、椰子及農作物ヲ損傷セシメ被害甚大

甚大ニ被害シ、椰子及農作物ヲ損傷セシメ被害甚大

ニシテ糧食生産力ハ三分ノ一以下ニ減シタリ

海軍

第七二號

(三) 需品

在津、枯渴シ機能停止ノ状態ニアリ

(四) 糧食現地自給量

糧食開係隊ニ依ル本月中蒐集高ハ別表ノ通

糧食班及糧食納付定数制(九月分本欄参照)ヲ基調トスル自給量

左ノ通

生菓肉

瓜類及食用雜草(莧、ドントビ、モシハ)

5,500k 60.5

(五) 其ノ他特記事項ナシ

(四七一三)

海軍

